

陸上とサッカー

御津南部小・3 上松 龍峨

ぼくは、小学校一年生からサッカーを始めました。ほ育園のときからいっしょだった友だちがさそってくれたことがきっかけです。土日でサッカーがあるので、はじめは休みが少なくなつて、大へんだな、つかれるなと思うことも多かったです。でも、お休みでも友だちと会えるし、少しずつできることがふえていくのがうれしい気持ちもあります。

二年生になつてからは、サッカーの練習しあいや大会がふえてきました。しあいに出られるときもあれば、ベンチのときもあります。しあいに出るときは、ディフェンスのポジションに入ることが多いです。相手チームのドリブルに負けないように走って、さい後まであきらめないことがひつようだと思つてプレーをしています。その中で、もつと速く走りたい、相手からボールをうばいたいと思うことがふえてきました。

そんなときに、学校からりくじよう教室の手紙をもらいました。その手紙をもらったとき、ぼくは、できればちようせんしてみたいと思ひました。

でも、少しふあんもありました。サッカーの他に、えい語も習つていたからです。サッカーの練習にさんかできない日も出てくるし、お母さんがなんて思うかなと思ひました。その日お母さんが帰つてきて、すぐに自分の気持ちをつたえました。

「りくじようを習つてみたい、これいじよう習ひ事がふえるのだからな。」

と、聞きました。そうするとお母さんは、

「だめじゃないよ。やりたいと思つたことはやればいいよ。おうえんするよ。」

と言つてくれました。

「自分でやると決めたならやり切る気持ちでやろうね。」

りくじよう教室には、同じ学校の友だちもいないし、一人でちがうことを始めるのはふあんも心配もありました。

だけど、それいじように新しいことにちようせんしてみたい気持ちと、走ることがすきだからそれをサッカーにいかしたいという気持ちが大きかったです。

だからぼくは、サッカーもりくじようもえい語も全部自分のできるかぎりの全力でやつていこうと決めました。

三年生になつて、りくじようの練習が始まりました。走るフォームを教えてくれたり、ボール投げ、走りはばとび、いろいろなしゅもくを教えてくれました。

その中でも、ぼくはリレーと一〇〇〇メートルの練習が楽しく感じています。

学校ではやつたことがなかった、クラウチングスタートもできるようにになりました。長きよりを走るとききのペースのとり方も教えてもらいました。何回かタイムそく定もあり、自分がどのくらいのリベルかも知ることができます。走ることがすきで、自しんもあつたけど、りくじよう教室に行つてみると、もつと速い子たちもたくさ

んいました。その中でがんばっていくうちに、自分の中の目ひょうもでき、今までよりもやる気が出ました。

サッカーとりくじようは、チームプレーとこじんプレーのスポーツですが、それぞれで学ぶことがたくさんあるなど感じています。サッカーはチームのなかまたちと、はげましあったり、ライバルとして高め合ったり、みんなで力を合わせて勝ちに向かっていることがとてもうれしいし、自分一人だけでは味わえない気持ちがたくさんあります。

りくじようは、自分のタイムとのたたかいで、一人でがんばることが多いです。だけど、自分と向き合えたり、ど力したりした分、けっかにつながっていくので楽しいと思えます。

サッカーもりくじようも、ぼくににとってひつようで、自分がせい長できると思うので、これから先も大へんだと思うけど、サッカーはチームのみんなと力を合わせて、りくじようも自分に負けずにつづけていきたいです。